

【令和6年度 オープンイノベーション研究・実用化推進事業 基礎研究ステージ(チャレンジタイプ)】
06001a1

Green ME プロジェクト:農と食を通じたエビデンスのある well-being 推進戦略

1 代表機関・研究統括者

国立大学法人 東京科学大学 山脇正永

2 研究期間:令和6年度~令和6年度(1年間)

3 研究目的

科学的根拠に基づく身体的・心理的・社会的健康(well-being)増進のための農作業・園芸作業プログラム Green ME (Green enterprise based on Medical Evidence) を作成する。

4 研究内容及び実施体制

① Green ME プログラムの well-being 増進へのエビデンス構築

身体的・心理的・社会的 (Bio-Psycho-Social : BPS と略) データ分析、脳機能画像・human sensing を用いた解析、インタビューによる質的分析を実施する。(東京科学大学)

② Green ME パイロット研究の実施とプロトコール作成

①で得られたエビデンスをもとに、農と食を視野に入れた well-being 増進プログラムを Green ME 実証研究プロトコールとして作成する。(東京科学大学)

③ Green ME 実証研究(含国際共同研究)準備及び社会実装の準備

英国研究者と協働で国際共同研究プロトコールを作成するとともに、実証した成果を社会実装するため、行政への働きかけやビジネス化への準備を行う。(東京科学大学)

5 最終目標

well-being 増進効果を測定する新たな手法を確立し、科学的根拠に基づく農作業/園芸作業 Green ME プログラムを策定するとともに、国際共同研究を含む実証研究及び社会実装の準備を行う。

6 期待される効果・貢献

本取組の効果として、高齢者施設及びデイサービスなどにおける作業プログラムとしての活用のみならず、農業と健康をつなぐ新たな産業分野の創出、ひいては地域活性化への貢献も期待される。また、本研究で開発する well-being 測定法は健康産業への応用も期待できる。

【連絡先 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 03-5803-4508】

06001a1

Green ME プロジェクト: 農と食を通じたエビデンスのある well-being 推進戦略

○本研究の目標

科学的根拠に基づく身体的・心理的・社会的健康(well-being)増進のための農作業・園芸作業プログラムGreen ME(Green enterprise based on Medical Evidence)を作成する

○背景・解決すべき課題

- ・ 農作業・園芸作業のwell-beingへの効果の科学的根拠（エビデンス）が少ない
- ・ Well-beingを評価すること自体が困難である
- ・ 食農を通じた健康づくりはエビデンスをもとに推進すべき
- ・ 国民の食料・農業への関心が必ずしも十分でない

○本研究の範囲と内容(令和6年度)

①Green MEプログラムのwell-being増進へのエビデンス構築

- ・ 身体的/心理的/社会的データ解析
- ・ 脳機能画像・表情分析を用いた新規解析法の構築と分析
- ・ 質的分析による効果解析

②Green MEパイロット研究の実施とプロトコール作成

③Green ME実証研究（含国際共同研究）準備及び社会実装準備



○本研究で期待されるアウトプット及び効果

- ・ 科学的根拠のある農作業/園芸作業プログラムの確立
- ・ 農作業を通じたwell-being 増進の新たな測定法の確立
- ・ 国際共同研究・連携の準備
- ・ 新たな産業創出、資格創出、雇用創出
- ・ 健康産業、医療・介護産業との連携
- ・ 農を通じたコミュニティ形成、地域振興